

ヨハネの福音書 第14章 6節

イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。」

それなりに自分の道を歩いている者にイエスは言われる。自分なりの願いや目標を持って歩いている者にイエスは言われる。あなたの道でよいとは言われ
ない。あなたの願いや目標をそのまま行きなさいとは言われ
ない。歩いている者の正面に向かって言われる。

わたしが道です。ありとあらゆる道を超えた道です。わたしの道とは言いません。わたしが道です、と言うのです。わたしと道がひとつだと言うのです。この道を歩む者は、わたしと語るイエスさまと歩むことです。

わたしが真理です、と言われます。道を歩むのに、どうして真理をお語りになるのでしょうか。無数にある道のなかには真実でないものがある。初めは華やかで、繁栄への道と見えても、その終わりは絶望と滅び、死への道となる。だから、わたしが真理です。

わたしがいのちなのです。偽りの道は死です。しかし、わたしがいのちです。この道を通してでなければ、だれひとり、父なる神のみもとに来ることはない。行くとは言わず、来る、です。主のもとに。

2024年7月11日